

経済・金融 フラッシュ

小売業は前年比▲1.2%と2ヵ月続けて悪化 ～商業販売統計 11年9月

経済調査部門 研究員 桑島 滋

TEL:03-3512-1838 E-mail: kuwahata@nli-research.co.jp

1. 小売業は前年比▲1.2%と2ヵ月続けて悪化

小売業及びコンビニエンスストア販売額(増減率)

10月27日に経済産業省から公表された11年9月の商業販売統計速報によると、小売業販売額は前年比▲1.2%の10兆5710億円と、2ヵ月続けて減少した。季節調整済前月比でも▲1.5%と、2ヵ月連続して減少した。

物価変動の影響を除いた実質値(当研究所試算値)では前年比▲0.9%と2ヵ月連続して減少した。

業種別では、燃料小売業が前年比2.4%と

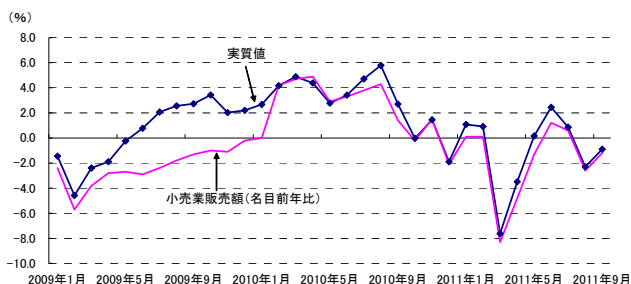
なるなど、8業種中4業種で増加したものの、機械器具小売業が、テレビの駆け込み需要やエアコンなどの暑さ対策品が好調に推移し2ヵ月連続で高い伸び(6月:前年比15.0%、7月:同10.0%)となった反動から、8月(前年比▲19.2%)に続き、同▲21.4%と、大幅に減少した。

一方、自動車小売業は、前年比▲0.3%と12ヵ月連続して減少したものの、サプライチェーンの復旧を背景に、4月の同▲37.8%を底に持ち直しの動きを続けている。2010年10月が9月末でのエコカー補助金終了による反動から大きく落ち込んでいることもあり、10月には、1年1ヵ月ぶりに前年比プラスとなることがほぼ確実となっている。

	小売業								コンビニエンスストア販売額	
	前月比	前年比	大型小売店				スーパー		前年比	前年比(既存店)
			前年比	前年比(既存店)	百貨店	スーパー				
10年7月	0.4	3.8	▲1.1	▲1.3	▲3.2	▲1.4	0.4	▲1.2	2.9	0.3
8月	1.4	4.3	▲1.1	▲1.8	▲5.0	▲3.0	0.6	▲1.3	3.2	0.7
9月	▲2.8	1.4	▲1.0	▲1.7	▲6.4	▲5.0	1.8	0.1	15.1	12.2
10月	▲1.4	▲0.2	1.2	0.4	▲0.5	0.6	2.3	0.3	▲3.3	▲6.0
11月	2.0	1.5	0.5	0.1	▲1.5	▲0.4	1.8	0.5	3.4	0.7
12月	▲4.2	▲2.1	▲1.6	▲1.7	▲2.6	▲1.5	▲0.7	▲1.8	5.4	2.8
11年1月	4.0	0.1	▲0.6	▲0.7	▲3.0	▲1.1	0.9	▲0.4	7.1	4.5
2月	0.8	0.1	1.0	0.5	▲1.1	0.6	2.1	0.4	8.5	5.9
3月	▲7.6	▲8.3	▲6.5	▲7.5	▲15.4	▲15.0	▲1.2	▲3.0	9.1	7.2
4月	4.1	▲4.8	▲0.9	▲1.9	▲2.4	▲1.8	▲0.1	▲1.9	3.0	1.0
5月	2.4	▲1.3	▲1.3	▲2.5	▲2.4	▲2.6	▲0.8	▲2.4	7.3	5.1
6月	2.9	1.2	0.4	▲0.5	▲0.3	0.1	0.8	▲0.8	10.9	8.3
7月	▲0.3	0.6	1.8	0.8	▲0.2	▲0.4	3.1	1.5	11.4	8.9
8月	▲1.7	▲2.6	▲1.8	▲2.6	▲2.4	▲2.1	▲1.5	▲2.9	9.1	6.6
9月	▲1.5	▲1.2	▲2.5	▲3.6	▲2.6	▲2.8	▲2.4	▲4.0	▲1.8	▲4.1

(資料)経済産業省「商業販売統計」

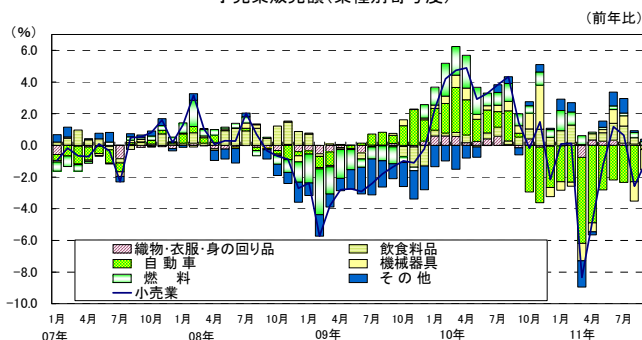
小売販売額の推移



(資料)経済産業省「商業販売統計」

(注)実質値については、消費者物価指数(「財」から「電気・都市ガス・水道」を除いたもの)により実質化
2011年9月の消費者物価指数については、当研究所予測値を使用

小売業販売額(業種別寄与度)



(資料)経済産業省「商業販売統計」

2. コンビニは、東北を除く7地域で販売額減少

11年9月の大型小売店販売額(百貨店とスーパーの合計)は、前年比▲3.6%と、2ヵ月連続の減少となった。業態別では百貨店が前年比▲2.8%、スーパーが同▲4.0%であった。

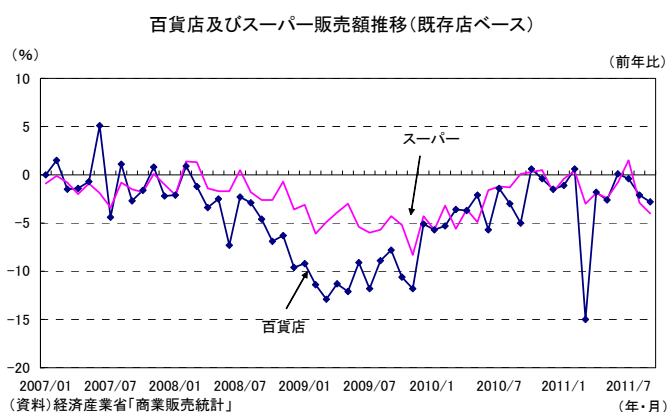
百貨店販売額(既存店)を商品別にみると、紳士服・洋品が前年比▲2.5%(8月:同▲7.5%)、婦人・子供服・洋品が同▲2.1%(8月:同▲2.2%)と、減少幅が縮小したことなどから、売上高の約4割を占める衣料品全

体では、前年比▲2.2%(8月:同▲2.4%)と減少幅が縮小したものの、飲食料品が前年比▲2.4%(8月:同▲0.8%)、家庭用電気機械器具が前年比▲17.7%(8月:同▲15.8%)と、減少幅が拡大したことなどから、百貨店販売額全体では減少幅が拡大した。

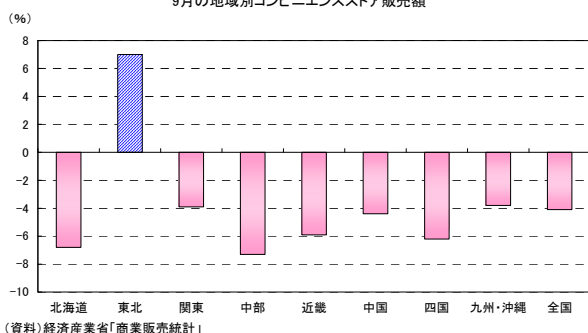
一方、コンビニエンスストア販売額(商品販売額及びサービス売上高)は7472億円、前年比▲1.8%(全店ベース)と2010年10月以来、11ヵ月ぶりに減少となった。

商品別では、ファーストフード及び日配食品(前年比9.9%、8月:同5.7%)、加工食品(前年比2.4%、8月:同▲2.4%)は前年比で増加したものの、非食品(前年比▲14.6%、8月:同23.7%)は大きく減少した。地域別では、東北を除く7地域で減少した。

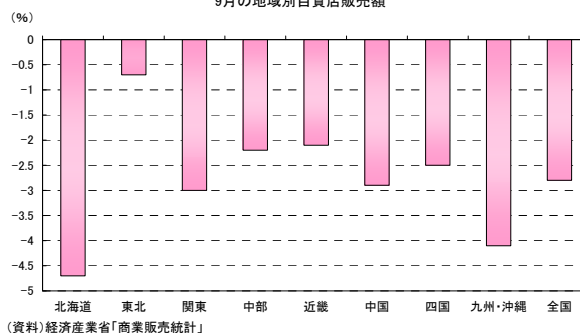
ただし、非食品の大幅減少となった要因は2010年9月に10月からのたばこ値上げを前に駆け込み需要がみられたことが影響しており、2011年10月には再び前年比で増加となる可能性が高い。



9月の地域別コンビニエンスストア販売額



9月の地域別百貨店販売額



9月の小売業は、機械器具小売業の反動減による影響などから、弱い動きとなった。先行きにかけては、雇用・所得環境も徐々に厳しくなっていくことが予想されることから、弱い動きが続くものと考えられる。